



F35 火災?! 西日本防災システム

2014 07 01

アメリカ、フロリダ州エグリン空軍基地で発生したステルス戦闘機F35のエンジン出火による火災事故を受けて、6月末に同型機全機の飛行訓練が一時停止されたことが分かったそうです。米軍当局によりますと、対象は海軍、その他全軍の保有機すべてのようです。事故原因の調査は現在も継続中で、機体検査などで安全確認後に訓練を再開する見通しだそうです。

エグリン空軍基地では、同機を保有する海兵隊と海軍も訓練を行っていて、事故は6月23日午前7時15分頃、離陸直前に発生したようです。パイロットはエンジン停止後に脱出して無事だったそうです。

米紙ロサンゼルス・タイムズは26日、同機1機当たりの価格が2001年には7800万ドル(約80億円)でしたが、現在は1億3500万ドル(約137億円)にまで高騰している点を指摘しているようです。

米国防総省は2457機を調達する計画のようですが、先月13日には飛行訓練中だった海兵隊仕様1機のエンジンからオイル漏れが発生し、全機の飛行訓練を一時停止し、機体検査を実施するなどの問題が多発していて、安全性に?が浮上しているようです。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 